

研究概要の一般公開

研究課題名

I 期肺癌に対する陽子線治療後の画像的肺変化に関する遡及的検討

研究の背景および目的

転移のない I 期の肺がん患者さんに対しては手術が標準治療ですが、他の持病のために手術が受けられない患者さんや手術を希望しない患者さんに対して、陽子線治療を行うことがあります。

陽子線治療後は定期的にCT検査をおこなって再発していないかどうかを確認しますが、陽子線治療後には肺に変化が生じ、再発との区別が困難な場合が少なくありません。

本研究では、陽子線治療後の患者さんの経過観察において有益な情報とするために、陽子線治療後のCT上の肺変化の特徴を明らかにします。

研究の対象

本研究の対象となるのは、2003年1月から2013年12月までの間に国立がん研究センター東病院にて I 期肺がんに対して陽子線治療を受けた患者さんです。

利用する情報

対象患者さんに対して、診療録の情報をを用いて以下の項目を調査します。
年齢、性別、喫煙歴、治療前肺機能、病期、病理組織型、腫瘍位置、陽子線治療体積、陽子線治療の線量

研究責任者

国立がん研究センター東病院 放射線治療科

中村直樹

個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療記録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、匿名化したうえでカルテ番号のみを用いて管理し、個人情報が院外に出ることはありません。国立がん研究センター東病院で治療され、この研究の対象となりうる方で、研究に診療録の情報を使わないでほしいというご希望があれば下記連絡先へご連絡ください。

国立がん研究センター東病院 放射線治療科 中村直樹

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
千葉県柏市柏の葉 6-5-1
TEL 04-7133-1111